

**HANA**



すべての人がアートを通じて自由に自分を表現したり、互いの感性を交感することができるコミュニティ・アートセンターです。障害のある人たちが個性をいかしながらビジュアルアートやパフォーマンスアートに取り組むスタジオ、今を生きる人たちの表現を紹介するギャラリー、コミュニケーションの場としてのカフェ&ショップ、アートの可能性について探求するインフォメーションセンターやミーティングルームがあります。



写真：衣笠名津美



社会福祉法人わたぼうしの会たんぽぽの家アートセンター HANA  
(生活介護事業：30名 / 就労継続支援B型：10名)

所在地：〒630-8044 奈良市六条西3-25-4  
営業日：火曜日～土曜日 10:00～17:00

| アトリエ - atelier





| 陶芸 - ceramic





ダンス - 身体表現



語り



演劇的ワークショップ



地域の人にも利用できるカフェ  
サロンや貸し館、展覧会などを行う

コミュニティカレッジ - 余暇 / 学び

楽しみや学びを「生き方の幅を広げるもの」ととらえ、多様なプログラムを展開



ネイルプログラム



好きなものくらぶ



アレンジフラワー

| ギャラリー - gallery



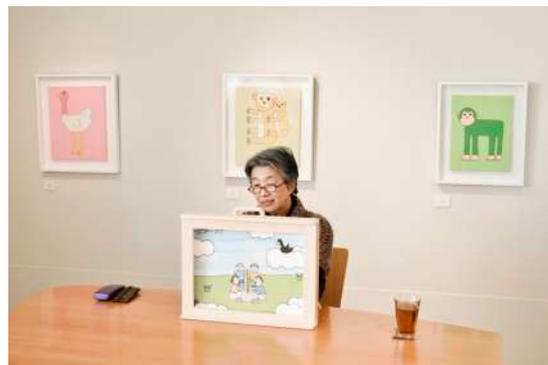
国内外で活動するアーティストを障害のあるなしに関わらず紹介するギャラリー



障害者アートの公募展「かんでんコラボアート」の巡回展の会場としても使用  
※主催：関西電力



全国にある施設の商品を販売する展示会



外部の作家や団体を招いたWSや公演

| グッズ - goods

アートグッズ

アート作品を使ったオリジナル  
グッズの販売



手ぬぐい / クリアケース / シルクスクリーンTシャツ



複製画 / キーホルダー / ポストカード



画集 / 缶バッチ / マグネット

土鈴「厄除鬼」 / 転写陶器

陶芸プログラムで製造している陶  
器の商品で、製造から販売までを  
メンバーが中心に行なっている



土鈴「厄除鬼」

メンバーのイラストを陶器に転写

手織り / テキスタイル

織りや布製品をつくるテキスタイルプログラムで、毎年秋に奈良町で展示販売会を行う



手織り展の展示風景



手織りグッズ



フェルトバック



刺繍の付け襟

デザイン使用

企業やクリエイターなどに、デザインとしてもアート作品が使用されている



中川政七商店「鹿コロコロ」



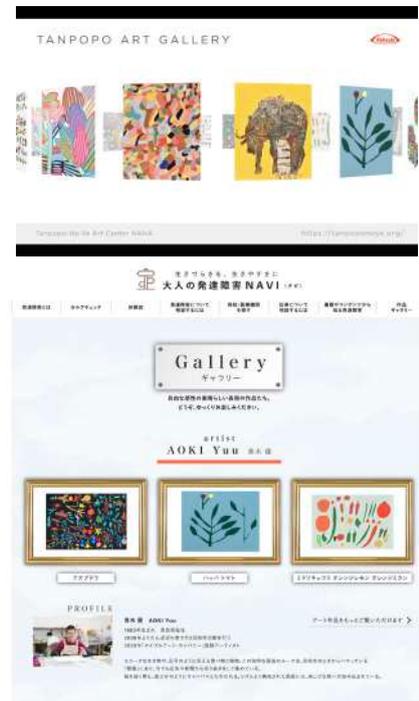
Né-Net「ワンピース」



TOYOTA「ラッピングカー」



西友「Tシャツ」



武田薬品 上「スクリーンセイバー」  
下「サイトのデザイン等」

| 掲載 - publish

中学校美術教科書 発行 | 光村図書



中学校美術教科書 発行 | 開隆堂出版



| 受賞 - award

「SHIFT Challenged Art」

大賞: 中村真由美



「かんでんコラボアート」  
大賞: 山村晃弘



「かんでんコラボアート」  
審査員特別賞: 十亀史子



| 取材 - coverage



NHK「no art, no life」 澤井玲衣子 | 中村真由美



NHKなら「ならナビ」  
山野将志



日本財団「DIVERSITY IN THE ARTS」  
澤井玲衣子 | 中村真由美 | 宿利真希



山野 将志  
yamano masashi

1977年生まれ 奈良県在住  
1995年よりたんぼぼの家で活動をはじめ

植物や動物・昆虫などの生命と対話するように描く。森や空などの自然を全身で感じ取り、力強い線と豊かな色彩を重ねていく。お出かけすること、人にしゃべりかけること、ご飯を食べに行くこと…。すべてが自分を表現する大切なものとしてつながっている。文化施設や公園、企業など、パブリックアートとして各地に作品がおさめられている。

〈個展〉

- 2018年 「山野将志個展 " 森羅万象 "」  
(鳥取／くらしアートミュージアム無心、とりぎん文化会館・山陰合同銀行ギャラリー)
- 2022年 「" 色相世界 " 山野将志 個展」(大阪／高島屋大阪店・ギャラリー NEXT)  
「スペシャル・ラフダイヤモンド " 山野将志展 "」(岡山／犬島 Hoppy バー)

〈グループ展〉

- 2012年 「違って独特」(韓国／京畿近代美術館)
- 2016年 「TURN フェス」(東京／東京都美術館)
- 2021年 「いきいきと解き放つ命の輝き」(徳島／徳島県立近代美術館)
- 2023年 「第3回 御室藝術祭」(京都／世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺)  
「扉をあける」(大分／大分県立美術館)

〈作品使用〉

- 2018年 壁画プリント (株式会社アマラクトヨタ)
- 2020年 ウィンドウラッピング (トヨタ会館)

〈パブリックコレクション〉

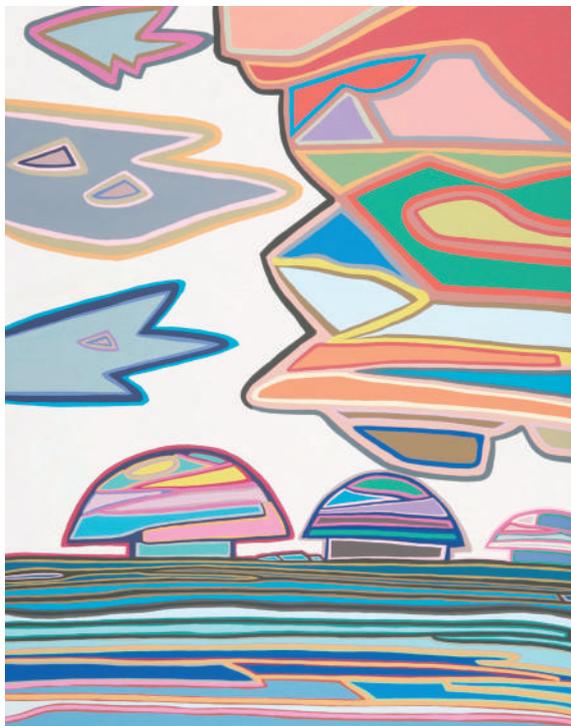
- 2013年 株式会社リブドゥコーポレーション新設工場へエントランス巨大壁画 (愛媛)
- 2019年 桃山学院大学の校舎への巨大絵画 (企画名：ART GUSH IZYMIU CITY)
- 2020年 コンベンションセンター奈良のエントランスに飾る絵画作品 (奈良)

〈アートレンタル〉

- 2020年 ロート製薬 (大阪、京都、三重、福岡 ※20年～毎年各拠点にてレンタルを実施)
- 2023年 奈良ホテル (奈良 ※イベントの紙うちわや七夕飾りへもデザインとして起用)



「オーストラリアの島」 アクリル、紙、パネル / 970×1620



「海に浮かぶ島」  
アクリル、紙、パネル / 1167×910



「ファソンの絵」  
アクリル、紙、パネル / 727×1167



「お水のんでるラクダさんの絵」  
アクリル、紙、パネル / 728×1030



中村 真由美  
nakamura mayumi

1985 年生まれ 奈良県在住  
2004 年よりたんぼぼの家で活動をはじめ

カラフルでポップなイラストと、細部にまで描写された絵画たち。そのあまりにも違う作風の振り幅は、別人が描いたような印象さえ受けてしまう。この作風の違いはモチーフの有無によって生まれており、自由に描けばイラストに、モチーフを見て描けば緻密画となって画面に表れる。その他イラストを立体にした張り子を大量に作ったり、毎日欠かさず絵日記を書いたりなど、多岐にわたる創作活動を展開している。

(写真：衣笠名津美)

#### 〈個展〉

- 2016 年 「中村真由美巡回個展 " 平行するスタンダード "」  
(鳥取／くらしアートミュージアム無心、米子コンベンションセンター、とりぎん文化会館)  
「エイブル・アート・アワード " 中村真由美 展 "」(東京／galleria grafica bis)  
2020 年 「中村真由美展」(東京／松坂屋上野店本館 7 階・上野が、すき。ギャラリー)

#### 〈グループ展〉

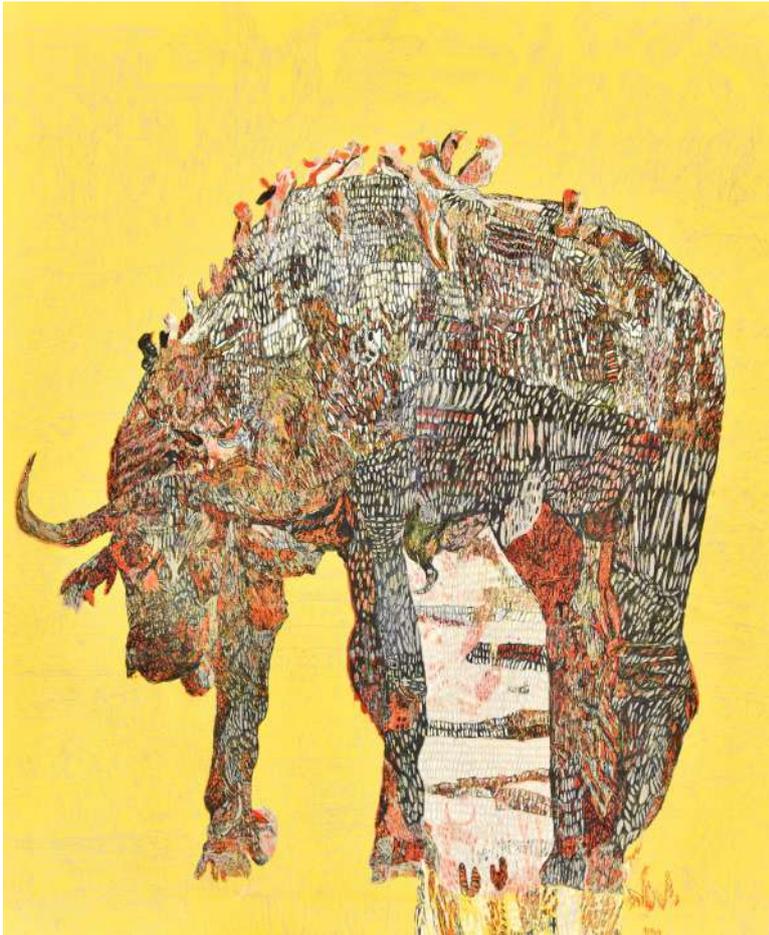
- 2012 年 「違って独特」(韓国／京畿近代美術館)  
2016 年 「TURN フェス」(東京／東京都美術館)  
2021 年 「いきいきと解き放つ命の輝き」(徳島／徳島県立近代美術館)  
2023 年 「第 3 回 御室藝術祭」(京都／世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺)  
「扉をあける」(大分／大分県立美術館)

#### 〈作品使用〉

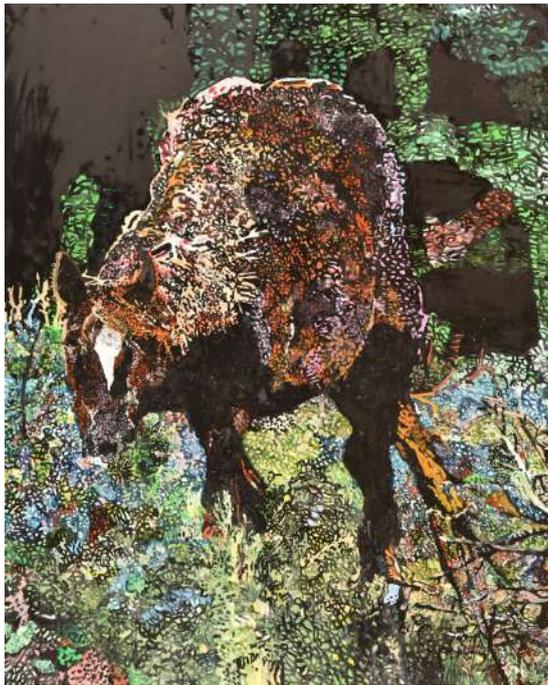
- 2015 年 マスコット「鹿コロコロ」(株式会社中川政七商店)  
シェルターからコックピットへ 飛び立つスキマの設計学 (著：椿昇／産学社)  
2016 年 奈良県立医科大学付属病院・小児病棟へのオブジェとマグネット  
(企画：特定非営利活動法人アーツプロジェクト)  
2019 年 洋服 (ネ・ネット)  
2020 年 パソコンのスクリーンセイバー画面 (武田薬品)

#### 〈賞歴／取材〉

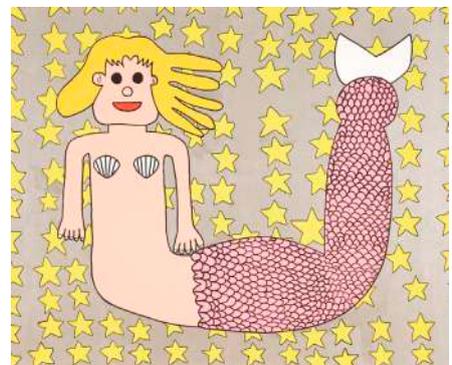
- 2021 年 「SHIFT Challenged Art 公募展 2021」大賞 受賞  
DIVERSITY IN THE ARTS PAPER vol.10 への取材掲載  
2022 年 NHK Eテレ「no art, no life」に出演



「水牛」  
ペン、アクリル、キャンバス  
803×652



「馬」  
油彩、キャンバス／1620×1363



「人魚」  
アクリル、顔料マーカー、キャンバス  
606×727



「ハリボテ シリーズ」  
アクリル、顔料マーカー、紙



伊藤 樹里  
ito juri

1977年生まれ 奈良県在住  
1995年よりたんぼぼの家で活動をはじめ

一日4回のラジオ体操、紅茶づくり、「ニュース」かき、薬のカラ集め、ラジオ深夜便を聞くこと…etc..、好きなこと・やりたいことが彼女の「仕事」である。その中でも、30年以上前から集めている薬の殻は段ボール数十個分にもものぼる大切なライフワークとなっている。また、「ニュース」の文字を“筆”で書くことを発見してからは、書も大好きな仕事のひとつになった。語り部、パフォーマーなどの顔ももち、様々な方法で自身の「仕事」を発信している。

#### 〈個展〉

2012年 「存在と生活のアート “JURIX WORKS”」(東京/A/A ギャラリー)

#### 〈グループ展〉

2011年 「ART PICNIC - 美術をたのしむ」(兵庫/芦屋市立美術博物館)  
2012年 「違って独特」(韓国/京畿近代美術館)  
2016年 「表現の森 - 協働としてのアート -」(群馬/アーツ前橋)  
2017年 「WSMA - 木造校舎現代美術館 - " GINGA "」(奈良/旧西小学校)  
2021年 「いきいきと解き放つ命の輝き」(徳島/徳島県立近代美術館)  
2022年 「関係するアート展 vol.2」(佐賀/佐賀県立博物館)  
2023年 「扉をあける」(大分/大分県立美術館)

#### 〈公演〉

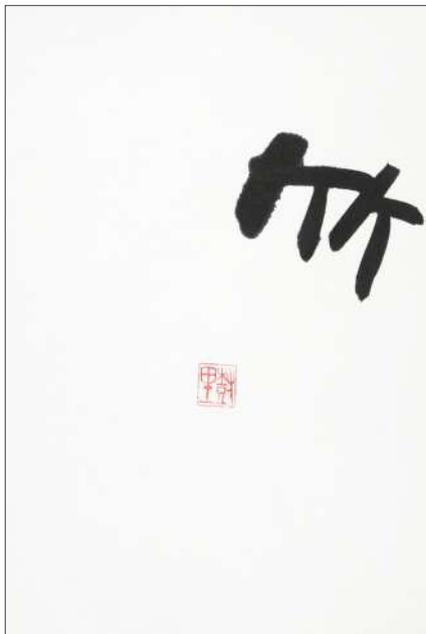
2010年 奈良弁護士会との協働プロジェクト「憲法絵本と語りの会」にて語りを担当  
※現在も継続して、日本各地の美術館や学校にて年間5~10公演を行う  
2012年 「鳥の演劇祭5 - カタルシス -」(鳥取/鳥の劇場)  
2016年 「ACTION！」(大分/大分県立美術館)  
「状況のアーキテクチャー " Tracing Memories: ラップ×介護×アート "」  
(京都/京都芸術センター)  
2017年 「共創の音楽劇 鳥の宗教」(奈良/奈良市ならまちセンター市民ホール)

#### 〈作品使用〉

2012年 服薬トレイ「掌」(LLC オフィスカラム・兵庫医療大学)  
2016年 学会プログラム、記念トート、オリジナルTシャツ各デザイン(同志社大学)  
2019年 ハンカチ(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会)



「JURIX WORKS」 20年以上集めている菓のカラ



「竹」  
墨、和紙 / 450×350



「ラジオ体操パフォーマンス in 高知城」



「憲法絵本の語り」  
協力：奈良弁護士会



武田 佳子  
takeda atsuko

1957年生まれ 奈良県在住  
1980年よりたんぼぼの家で活動をはじめ

猫を中心とした動物を愛し描いていたが、浮世絵と出会ったことで人間に惹かれ始める。瞬発的に生まれる力強い線は息の合うサポートがあってこそ。生命あるものを描き、自分の存在と重ねあわせることで、どう生きたいかを自らに問いつづけている。

〈個展〉

2005年 「千変万化～生色 武田佳子展」(奈良／アートセンターHANAギャラリー)

〈グループ展〉

2012年 「違って独特」(韓国／京畿近代美術館)

2014年 「花は咲きたい - 小松和子・武田佳子 二人展 -」  
(大阪／高島屋大阪店・ギャラリーNEXT)

2017年 「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会 "HAPPY SPOT FUTURE"」  
(奈良／奈良県文化会館展示室)

2019年 「創造のいろは」(鳥取／米子市美術館)  
「エイブル・アート展」(岐阜／可児市文化創造センター)

2020年 「騒ぐイマジネーション」(石川／めいてつ・エムザ 美術サロン)

2021年 「いきいきと解き放つ命の輝き」(徳島／徳島県立近代美術館)

〈作品使用〉

2008年 TBSドラマ「だいすき」スタジオセットへの作品使用

2017年 オリジナルリサイクルバッグ(株式会社高島屋)  
茶室の壁紙(京都市立芸術大学)

〈アートレンタル〉

2010年 蕎麦屋「案山棒」(静岡)

2014年 JOHNNAN 株式会社(京都)

〈レジデンス〉

2006年 「オーストラリア交流プログラム」(豪日交流基金助成)



「女は愛嬌」  
顔彩、墨、和紙 / 1400×590



「私は竹下しめじよ」  
顔彩、墨、和紙 / 1400×700



「わぁーくちのなかがたまごでいっぱい」  
顔彩、墨、和紙、パネル / 520×770



「涙」  
顔彩、墨、紙 / 785×545





| 展覧会 - exhibition

県内外で様々な企画展を開催  
年間30展以上の展覧会に出展  
海外の展覧会に出展





## 「扉をあける」

大分県立美術館／大分／2023年

たんぽぽの家の作品や取り組みを「アートの扉＝作品」、「デザインの扉＝プロジェクトやデザイングッズの事例」、「表現の扉＝HANAのスタジオ紹介」の3つの章にて展示。





｜ デザインの扉

Good Job! プロジェクトやデザイン使用、ものづくりの事例を展示

｜ 表現の扉

アートセンター HANA の紹介や、プログラムの様子や使っている道具なども展示

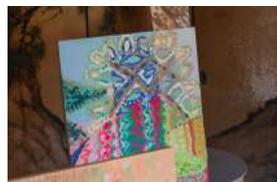




世界遺産 仁和寺

「第3回 春の御室藝術祭」

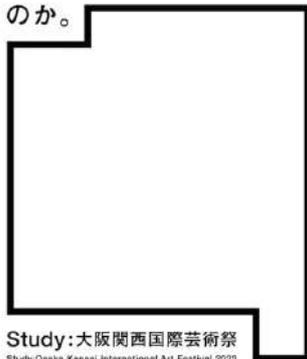
真言宗御室派総本山 仁和寺 / 京都 / 2023年





## Study:

ヒトはなぜアートが見たいのか。



Study:大阪関西国際芸術祭  
Study-Osaka Kansai International Art Festival 2022  
2022.1.28 Fri — 2022.2.13 Sun



Study : 大阪関西国際芸術祭  
「アートフェア2023」

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル  
大阪 / 2023年



レセプションパーティーにも参加



スペシャル・ラフダイヤモンド「山野将志 展」  
犬島 ホッピーバー／岡山／2022年

日本最大級の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2022」の期間に合わせて個展を開催。会期中には公開制作も行い、完成した作品は会場にて展示。



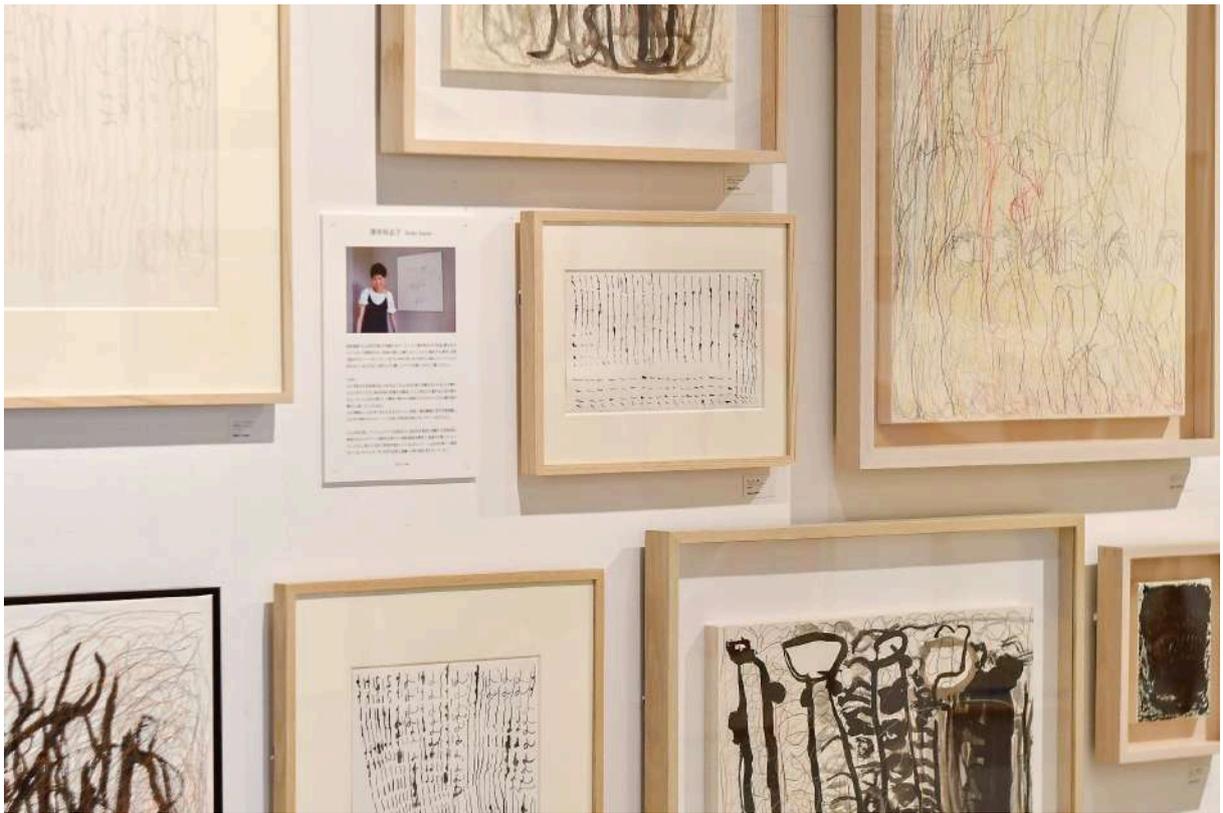


「人間の才能」  
生み出すことと生きること

---

滋賀県立美術館／滋賀  
2022年





## 「Life in Art」

澤井玲衣子

グランフロント大阪 無印良品  
大阪 / 2022年





※2010年にもギャラリーオープンの初企画として同会場で開催

## 「色相世界」山野将志個展

高島屋大阪店ギャラリーNEXT

大阪 / 2022年



作品出展

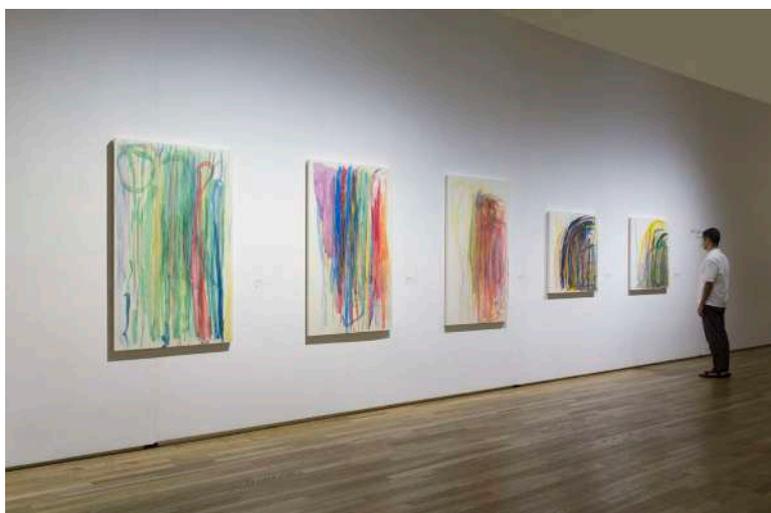
「A Rising in the EAST  
- 東よりきたる」  
DADAA  
／オーストラリア・パース  
2024年



「関係するアート vol.3」  
佐賀県立博物館  
／佐賀  
2023年  
※2021年から3年連続で出展



「あるがままのアート」  
東京藝科大学大学美術館  
／東京  
2020年



「めぐるアートをめぐる」  
京都場  
／京都  
2019年



「創造のいろは」  
米子市立美術館  
／鳥取  
2019年  
※創作で使用している自助具を展示



「違って独特」  
京畿近代美術館  
／韓国・京畿道  
2012年







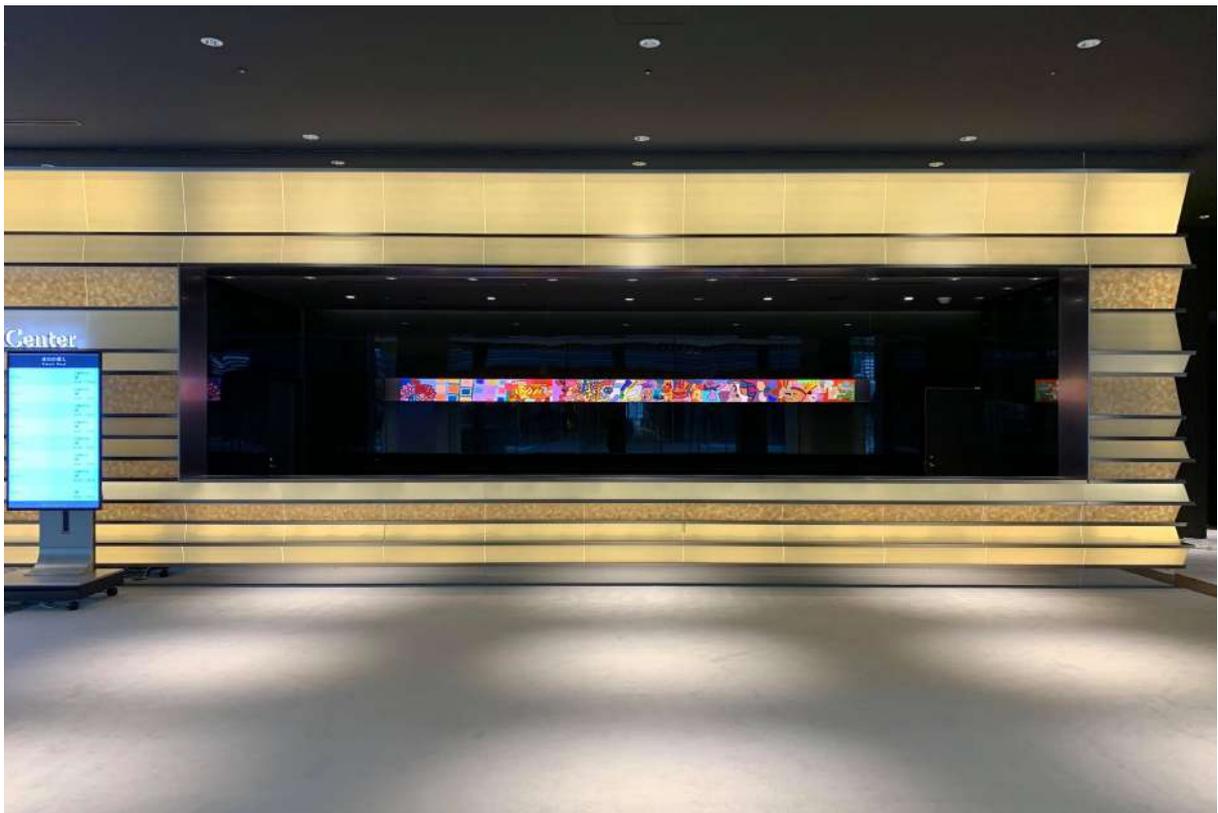
| プロジェクト - project

街を彩るパブリックアート  
公共空間や企業へのアートレンタル  
アーティストや芸大、海外との共同  
地域で展開するコミュニティプロジェクト

## 奈良県コンベンションセンター

### エントランスホールへのパブリックアート制作

2020年にオープンした奈良県の文化複合施設コンベンションセンターに「神撰」(神様への貢物)をテーマに描いた山野将志さんの作品を納品。描き下ろした30cm×6mの大作が、エントランスに永久展示されている。



「奈良の神饌 正倉院の宝物柄 ー 談山神社嘉吉祭 諸鍛神社 荒稻 ウグイ 山口神社 などー」  
素材：アクリル、パネル サイズ：300×6000 制作年：2020年

| 作品について

奈良県にある神社で行われる祭事にて神様に祀る貢物と、正倉院の宝物をモチーフに描く。人々が集う文化施設の入口に奈良の賑わいと文化を感じさせる作品を描いた。



コンベンションセンターの外観



〈正倉院の宝物〉

金銀花盤 - きんぎんのかばん -



下描き



〈奈良の神撰〉 山口神社 亥の子暴れ祭り「鉢巻飯」



下描き





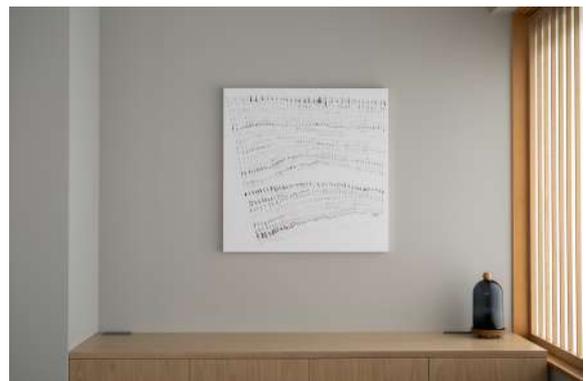
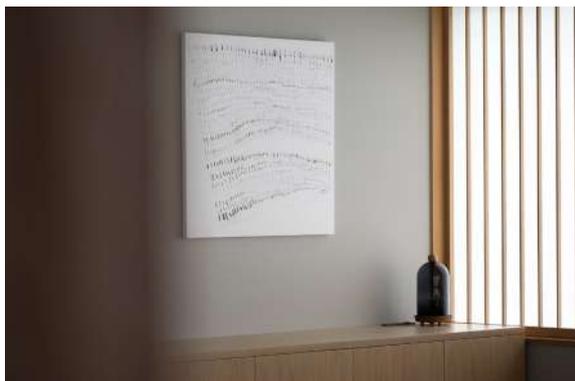
## MIROKU 奈良 by THE SHARE HOTELS

### ジュニアスイートルーム3部屋へのパブリックアート

2021年に「共生の奈良」をテーマにしたライフスタイルホテルMIROKU 奈良 by THE SHARE HOTELS が奈良町にオープン。アートセンター HANA 所属作家の澤井玲衣子氏が描き下ろした作品3点がジュニアスイートルームに飾られた。越前和紙にピアノの楽譜をテーマに墨で描いたパブリックアート作品。

Photo: MARC AND PORTER / 提供: 株式会社リビタ

「piano note」 素材：墨、越前和紙、パネル／サイズ：870×870／制作年：2021年



## 大和ハウスグループ

### みらい価値共創センター「コトクリエ」へのアートレンタル



2021年に奈良市にオープンした「みらい価値共創センター「コトクリエ」」にてたんぼぼの家の作品が館内アートとして活用される。「コトクリエ」は大和ハウスグループの社員研修や他団体のイベント、地域の人達が活用できる研修施設。たんぼぼの家の作品は、大和ハウスグループの社員が利用する宿泊者専用の6つのリビングルームにて展示された。





かるがも基金  
ロート製薬

## ロート製薬全国6拠点への アートレンタル

ロート製薬の全国6拠点にて、たんぼぼの家の作品を展示するプロジェクト。  
京都府と三重県の工場、大阪本社・グランフロント大阪オフィス、福岡支店、名古屋支店にて作品を展示。2020年より、年間約100点の作品をレンタルとして貸し出している。 ※かるがも基金：ロート製薬社内有志で行っている従業員寄付団体

### | 大阪本社



1F エントランス



5F エレベーター乗場

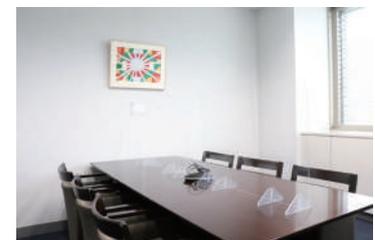


2F エレベーター乗場

### | ロートリサーチビレッジ京都



社員食堂



応接室



フリースペース

| 上野テクノセンター



社員食堂



応接会議室

| グランフロント  
大阪オフィス



| 福岡支店



エントランス

# OPEN KITCHEN

## - 京都市立芸術大学 × たんぼぼの家 -

たんぼぼの家のアーティストと京都市立芸術大学の学生や出身のアーティストがペアを組み、作品を取り交わすプロジェクト。互いのアトリエで制作し、郵送しあって1つの作品を作り上げる。そんな制作方法を「アートラリー」とよび、2016年からペアを変え共同制作を続けている。

主催：京都市立芸術大学、立命会館大学

共催：一般財団法人たんぼぼの家、社会福祉法人わたぼうしの会

キュレーション：寺岡波瑠

### 共同制作「アートラリー」のルール

- ① 2人1組でペアを組む
- ② 先行後行を決める
- ③ 先行の人から作品を制作
  - ※制作はそれぞれのアトリエで行う
- ④ 完成したら後行の人に作品を発送
- ⑤ 作品を受け取り、それを元に制作を行い、完成したら送り返す
  - ※事前の打ち合わせは行わない
  - ※全く違う媒体で返したり、壊したりしてもOK
  - ※ラリーの回数や制作期間も自由



↑送られてきた作品の梱包をとく様子

# OPEN KITCHEN 2022-2024 報告展

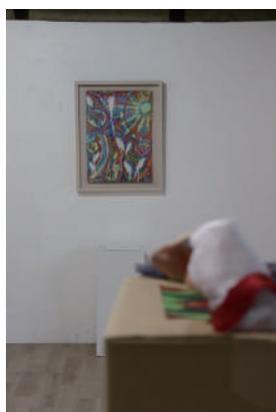
Books×Coffee Sol. / 2024.4.30-5.5

たんぽぽの家アートセンター HANA ギャラリー / 2024.5.10-30

---

2022-2024 では記録者として学生が関わり、各ペアの展示ディレクションも行った。ペアは公募で集まった主婦や子ども、社会人の方たち。2会場で巡回し、HANA ギャラリーではペアと記録者のが登壇してギャラリートークを行った。

## | 京都会場



## | 奈良会場



# OPEN KITCHEN 2021-2022 報告展

Books×Coffee Sol. / 2022.3.22-29

---

2021-2022 ではトリオでの共同制作を行う。小学生や他団体の団体参加もあり、展覧会の最終日には初の顔合わせをかねてギャラリーでのトークイベントも行った。

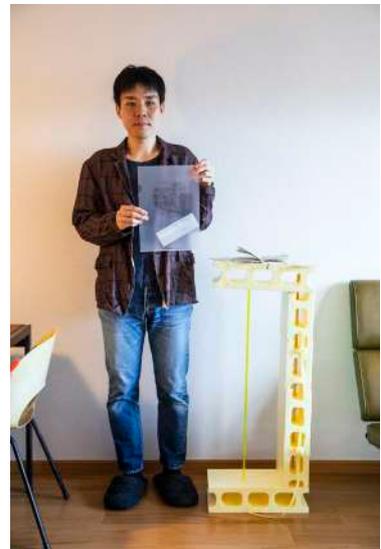




OPEN KITCHEN 2020-2021 報告展  
京都市内各所 / 2021.3.14-31

---

2020-2021 では作家同士の制作に加え、公募で募集した一般市民もアトラリーに参加。展示は参加者の自宅を会場にして開催した。 写真：佐伯慎亮





## 共同制作海外交流プロジェクト

### 「aE.T.プロジェクト(異邦人たちの出会い)」

たんぽぽの家(日本 | 奈良) × EasyTogether(韓国 | 釜山)

韓国・釜山市で障害福祉施設を運営する「EasyTogether」と交流プロジェクトを実施。それぞれで活動する障害のあるメンバーが互いの国を行き来し交流するプログラムで、釜山市で開催された世界大会にも登壇。日本ではEasyTogetherのメンバーが5名来日し、たんぽぽの家にてメンバーとの共同制作が行われた。

※aE.T.プロジェクト: Art Enjoy & TripとArt in EasyTogether&たんぽぽの家

〈プロジェクト内容〉

○韓国での活動

期 間: 2023年8月8日(火)~8月10日(木)

体 制: メンバー 2名 / スタッフ 3名

内 容: EasyTogetherへの訪問  
2023釜山世界障害者大会への参加

○日本での共同制作

期 間: 2023年8月28日(火)~9月1日(金)  
2023年9月 5日(火)~9月8日(金)

参加者: EasyTogetherメンバー 5名  
たんぽぽメンバー 5名

内 容: 2人1組のペアによる共同制作  
最終日の合評会  
EasyTogetherの活動報告会



韓国での活動  
2023.8.8-10



| 2023釜山世界障害者大会



| メンバーがVRデモンストレーションで登壇



| EasyTogether 訪問



観光も楽しみました

日本での共同制作

2023.8.28-9.1 / 9.5-8



水田篤紀 × チョ・ミンソク



増谷瀬奈 × チェン・スミン



中村真由美 × キム・ハラン





山村晃弘 × カン・ジュヨン



山野将志 × キム・ドゥヨン



### | 9/8「お披露目会」

作品の発表とともに、それぞれのペアで手紙の交換。

別れを惜しんで涙するメンバーもいたりなど感動の場面もありました



# 子ども食堂 アートで応援プロジェクト

たんぼぼの家では2017年より、施設を解放して「たんぼぼ子ども食堂」を行っています。週に1回、会食やお弁当の配達を行っており、50名の子どもや家族が利用しています。この《アートで応援プロジェクト》は、子ども食堂を応援したいという障害のあるメンバーたちの想いから立ち上がり、子ども食堂の運営資金を確保するためのアートグッズの販売や、奈良県、そして全国の子ども食堂を応援する展覧会やセミナーを開催しています。



みんなで作るもう一つの居場所「ならのこども食堂」  
+たんぼぼの家のアーティストの美味しい絵

会場：奈良県立図書情報館（奈良／2024年）

共催：社会福祉法人わたぼうしの会、奈良県立図書情報館／協力：奈良子ども食堂ネットワーク



奈良県内の子ども食堂130箇所の紹介と、子ども食堂の関連書籍コーナー



県内で活動する子ども食堂の代表方を講師に招いたセミナー



全国の子ども食堂の現状を紹介するパネル展示 (NPO 法人全国子ども食堂支援センターより)



子ども食堂のボランティアとスタッフの、現場の声も紹介



会場にて障害のあるメンバーがグッズとお弁当を販売しました



## たんぼぼ子ども食堂のチラシ

絵はたんぼぼの家のメンバーの作品

## 子ども食堂グッズのカタログ 一部の商品はロート製菓「かるがも基金」のご協力

たんぼぼの家では、障害のある人が自分でデザインしたグッズと食器の企画を依頼しています。

### 子ども食堂アートで 応援プロジェクトグッズ

障害のあるメンバーが、自身の笑顔や作品をとおして「愛する者として(愛プロジェクト、そして社会に)貢献する」機会を作ることでアート社会化を推進し、活躍の場を広くすると、子ども食堂のイメージアップが実現しています。そんな思いを込めて生まれた、グッズです。

※商品の売上の一部が、たんぼぼ子ども食堂の運営費にまわられます。

**NEW!** 新しい食器のシリーズができました!

キッズ茶碗	スープカップ	サラダボウル	カレー皿
¥850 (税込) 本体 ¥800	¥1,200 (税込) 本体 ¥1,000	¥1,100 (税込) 本体 ¥1,000	¥1,450 (税込) 本体 ¥1,300
■数量 / 在庫数 ■サイズ (径) 84mm x 高さ 54mm	■数量 / 在庫数 ■サイズ (径) 87mm x 高さ 52mm	■数量 / 在庫数 ■サイズ (径) 104mm x 高さ 41mm	■数量 / 在庫数 ■サイズ (径) 120mm x 高さ 45mm

---

### ポストカード

- 「カラフルな日」 10枚セット 税込 1000円
- 「キラキラ探検のおやすみ」 5枚セット 税込 600円
- 「ココロココロ1期の完成」 5枚セット 税込 600円

※枚数・送料は別途。

### 一筆箋 税込 440円

- 数量 / 在庫数
- サイズ (縦) 121mm
- 枚数 / 2枚 (2期 x 10枚)

### たんぼぼ子ども食堂って??

奈良県にある「たんぼぼの家」が運営する子ども食堂。障害のある人がアート活動を行う福祉施設を開設し、40名ほどの参加者が月に1、2回食事を食べています。

### 平賀和樹 の デザイナリ食器

アートセンターHANAのアートリスト、平賀和樹のデザインした、かわいい食器のシリーズです。カラフルなデザインが特徴的なシリーズです。

- ① 湯呑み
- ② カネゴウラ
- ③ コップ
- ④ タコス
- ⑤ 肉じゃが・ビーフステーキ

### 青木優 の おしゃれ食器

アートセンターHANAのアートリスト、青木優のデザインした、かわいらしい食器のシリーズです。かわいらしいデザインが特徴的なシリーズです。

- ① トマト
- ② ネージュ
- ③ レモン
- ④ オレンジ
- ⑤ 野菜

## 参加プロジェクト



「TSUNAGU MARKET@高島屋大阪店 | ショーウィンドー原画展示」  
高島屋で開催された Osaka Art & Design での展覧会で公開制作をした作品をショーウィンドーにて展示



「奈良ホテル | オリジナル紙うちわと作品展示」  
SDGs のイベントとして作品が施された紙うちわと館内での作品展を開催



「交差するイメージ - 文学とアート -」  
龍谷大学と共同して、障害のある人の作品に学生が選んだ文学を添えて展示するプロジェクトに参加



「SOU -JR 総持寺駅アートプロジェクト-」  
駅の校内に様々なアーティストが作った作品を拡大プリントし、1年間の展示を行う



「ART GUSH IZUMI CITY」  
関西所縁のクリエイター 30 組が和泉のまちにパブリックアートを作るプロジェクトに参加



「いのちの森プロジェクト@Livedo コーポレーション愛媛新居浜工場」  
いのちの森をテーマに医療キットをつくる工場に 4m を超える壁画を 5 点を描き下ろす



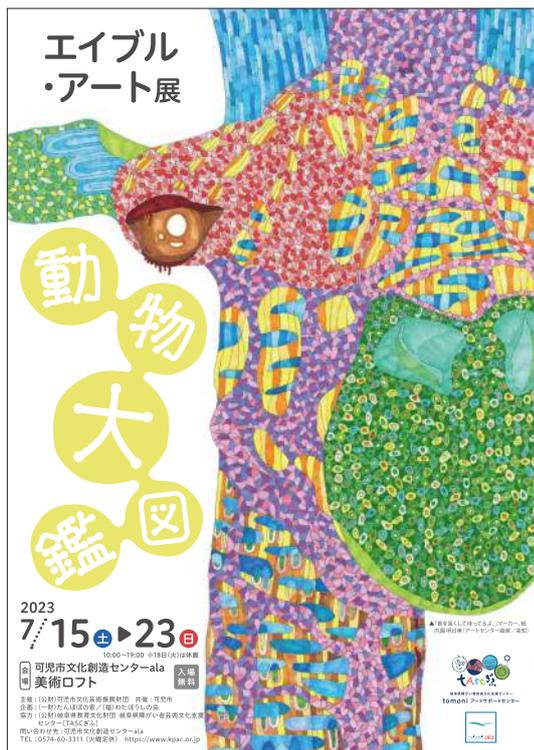


| コーディネート - coordination

他施設の障害のあるアーティストを  
取り扱った企画展

「アートをしたい」施設へ出向いた  
プログラムのコーディネート

障害のない人もある人も楽しめるアートWS



## エイブル・アート展

障がいのある人が「生」の証として生み出した作品を「可能性(able= エイブル)の芸術」として紹介する展覧会。たんぼの家以外の作品も含め、全国で活動する障害のある作家の作品を展示している。

(公財)可児市文化芸術振興財団より依頼を受け、2009年から岐阜県にある可児市文化創造センターalaにて毎年開催している。

主催：(公財)可児市文化芸術振興財団

共催：可児市

企画：(一財)たんぼの家 / (社福)わたぼうしの会

協力：(公財)岐阜県教育文化財団 岐阜県障がい者芸術文化支援センター (TASC ぎふ)

| 2024年

## エイブル・アート展

表現が生まれる "まえ" と "あと"



### 〈 展示内容 〉

#### □ 作品展示

荒井 陸 (たんぼの家アートセンター HANA / 奈良)  
平井和樹 (たんぼの家アートセンター HANA / 奈良)  
前田考美 (たんぼの家アートセンター HANA / 奈良)  
山野将志 (たんぼの家アートセンター HANA / 奈良)

#### □ プロジェクト展示:

OPEN KITCHEN / aE.T. プロジェクト  
六条山プライベート美術館  
□ スタジオ紹介展示  
各作家の制作資料 / 自助具 / スタジオ風景写真



### 〈 コンセプト 〉

今回のエイブル・アート展では、表現が生まれる《まえ》と《あと》に着目した展覧会を開催します。一言に「アート作品」と言っても、その表現方法は様々。美しい色彩で描かれた抽象画が実は写真を見て描いた写実画だったり、記号で構成された画面に季節を見出していたり、大好きなモノにただひたすらに想いをぶつけた様子が作品とよばれるものになっていたり、、、

本展ではたんぼの家の4人のアーティストが生み出した作品が紹介されます。会場ではそれぞれのアーティストが育んできた表現の現場を、実際に使用している資料や道具などを通して紹介されます。普段は見ることのできない表現の舞台裏をぜひ覗き見に来てください。

| 2023年

エイブル・アート展

## 動物大図鑑



### 〈 出展作家 〉

内園明日美 (アートセンター画楽 / 高知)

十亀史子 (たんぼの家アートセンター HANA / 奈良)

永井看帆 (NPO 法人創作工房ゆうさをリエ工房 / 兵庫)

中村真由美 (たんぼの家アートセンター HANA / 奈良)

山崎康史 (奈良)

※ 見守り支援学級児童・生徒による作品も展示



### 〈 コンセプト 〉

絵を描くとき、何かを作るとき、「動物」は作り手にとって身近なモチーフのひとつです。迫力のある大きな身体や愛くるしい仕草、美しい模様や毛並みにいきいきと瀕る力強いエネルギー…。動物に自らの心情を重ね合わせたり、家族以上の絆が生まれることも珍しくありません。そんな動物の多彩な魅力は、多くの作り手によって表現されてきました。

今回のエイブル・アート展は、「動物大図鑑」と題し多彩な表現で動物を描く5人の作品を紹介します。煙びやかに装飾された毛並みと模様、淡く美しい表現で描かれた身体、カラフルで愛らしくたくさんの張り子、空想の世界で和やかに過ごす動物の群れ。独自の手法・感性で作られた動物たちは、いきいきとした姿で絵画や立体作品として生まれました。

「動物」からみえてくる「人間」の表現の世界を、本展を通じてお楽しみください。

| 2022年

エイブル・アート展

アートの奥行き



〈 出展作家 〉

伊藤士隼（株式会社ありがとうファーム／岡山）

下隈祐司（社会福祉法人すぎのこ村／大分）

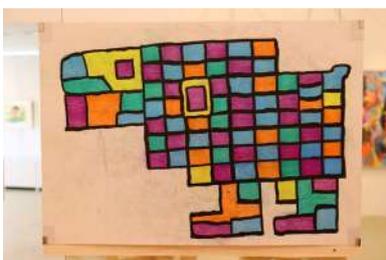
森啓輔（NPO 法人希望の園／三重）

若杖大介（社会福祉法人青葉仁会／奈良）

伊藤樹里（たんぼぼの家アートセンター HANA／奈良）

舟木花（たんぼぼの家アートセンター HANA／奈良）

※可児市内支援学級児童・生徒による作品も展示



〈 コンセプト 〉

「アート」という言葉を聞いたとき、あなたはどんなことを思い描きますか？ 今回のエイブル・アート展のテーマは「アートの奥行き」。障害のある人が生み出す多様な作品から、アートそのものの豊かさを感じていただく展覧会です。目に見えないものを映し出した抽象絵画、様々な素材を自由自在に組み合わせた技法、豊かな感性で新たに描き変えられた人や生き物。日々の習慣が長年の時をへることでアートに見える、そんな営みも展示します。アートってもっとワクワクするのかもしれない…！それぞれの世界観をもった、6名の作家を紹介します。



| 出展作家による公開制作も開催



## CORE ART - 私の中は私。 -

大分県日田市にて、障害のある人の芸術活動推進を目的とした展覧会を開催。地元団体より依頼を受け、たんぼぼの家のメンバー3名と兵庫、大分の障害のある作家の企画展を行う。その他、作品が使用された商品やパブリックアートなど出展作家の活動展開も紹介。会場では地元団体が企画する障害のある人とクリエイターとの協働も展示された。

主催：すぎのこ村モダンタイムスアート実行委員会、日田市民文化会館「パトリア日田」

協力：株式会社 MODERN TIMES、たんぼぼの家アートセンター HANA、Able Art Company、Good Job！ Center KASHIBA

出展協力：和泉市、和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム、株式会社 伊千呂、株式会社 中川政七商店、株式会社

良品計画、公立大学法人 京都市立芸術大学、MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社

後援：大分県、大分合同新聞社、KCV コミュニケーションズ、西日本新聞社、日田市、日田市教育委員会



たんぽぽの家アートセンター HANA			エイブルアート・カンパニー	
				
伊藤 樹里   奈良	中村 真由美   奈良	山野 将志   奈良	野口 昌裕   兵庫	藤田 望人   大分
すぎのこ村・大分県日田はぎの園				
				
一ノ宮 里江   日田	下隈 祐可   日田	中島 孝幸   日田	佐藤 裕一郎   日田	宝珠山 孝徳   日田
				
小袋 八重子   日田	森口 美幸   日田	田上 泰弘   日田	和智 正志   日田	西郡 ちどり   日田
日田コラボ商品クリエイター				
				
穴井 優・佐々木 麻衣 (anaikim)	石井 小太郎(オリンピア)	千原 央記(Study inks)	仙崎 雅彦(hi-count)	永田 健(株式会社Alt.)

### 〈 コンセプト 〉

才能に垣根はない。「コア・アート」は、障がい者本人の「人生が多彩に、より楽しくなる」をめざすもの。それとともに、家族、支援者、地域の人たち、さらに社会の様々な人たちがより豊かな心で「日々を自分らしく暮らす」ための、根となり幹となり枝となるもの。

40年以上にわたって障がいのある人たちのアートシーンをリードしてきた奈良「たんぽぽの家」と日田の作家の作品、作品とクリエイターのコラボ商品などを展示します。この日田で、関係者・鑑賞者とともに、誰もが自分らしく生きる方法を探っていきたい。そんな思いを込めたART展です。



大分の障害のある作家の作品をテーマにしたWSを開催



## CORE ART - 私の中は私。 -

会場：日田市民文化会館「パトリア日田」ギャラリー



地元団体が企画した  
クリエイターと  
福祉施設「すぎのこ村」  
とのコラボレーション展示





出展作家5名の活動展開を作品と共に紹介



**!**  
年齢や障がいの有無にかかわらず、  
だれもがアートを体験できるワークショップ。  
いろんな素材や方法で、  
いっしょに表現を楽しみましょう！

in  
なら歴史芸術文化村

なら歴史芸術文化村では、だれもが芸術文化活動に参加しやすい環境を提供し、アートの楽しみを見出すことや、自己表現ができる機会を創出するため、「オープンアトリエ in なら歴史芸術文化村」を開催します。  
前期、後期それぞれ異なるテーマで、作品制作をしてみませんか。  
“だれもがアーティスト”になった気分、どなたでもご参加ください。

会場：なら歴史芸術文化村  
芸術文化体験棟3階 セミナールーム AB  
\*11月12日・13日の会場は同棟3階セミナールームCになります。

日程

前期 11月12日(土)、13日(日)、12月17日(土) 全3回  
13:30-15:30 (受付 13:15 ~)

後期 12月18日(日)、2023年1月7日(土)、8日(日) 全3回  
13:30-15:30 (受付 13:15 ~)

対象：どなたでも参加可能 ※原則3日間参加可能な方  
定員：前期・後期それぞれ各10人/組  
※授業の方も一緒に参加いただけますので申込み時にお名前もご記入ください。  
※プログラム内でのサポートは事務局が行います。プログラム外でのサポートが必要な場合は、介助者と一緒にご参加ください。

参加費：無料

申込方法：なら歴史芸術文化村ホームページにて  
<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/event/>

申し込み期間  
前期 申込：電話・メール・郵便を問わず！ 11月1日(火) 09:00 - 11月23日(金) 17:00まで  
後期 申し込み期間：メール・郵便を問わず！ 11月23日(火) 09:00 - 12月9日(金) 17:00まで \*定員になり次第締め切ります。

## オープンアトリエ in なら歴史芸術文化村

なら歴史芸術文化村にて、アートセンター HANA 所属作家の富丸風香と宿利真希の作品をテーマにしたワークショップを開催。大人も子どもも、障害のある人もない人も、みんなが楽しんで「アーティストになる」、そんなオープンアトリエを行った。その後完成した作品は成果発表展として文化村内にて展示された。

主催：なら歴史芸術文化村 企画・運営：一般財団法人たんぼの家  
協力：社会福祉法人わたぼうしの会  
令和4年度 文化庁 障害者等による文化芸術活動推進事業 奈良県みんなで楽しむ大芸術祭参加事業



富丸 | 写真作品



宿利 | 段ボール作品

# こんなワークショップを 開催しました!

前期



## 前期プログラム「写真+絵=物語をつくろう!」

実施日: 2022年11月12日(土)、13日(日)、12月17日(土)

原案: 富丸風香(たんぼぼの家 アートセンターHANA所属作家)

講師: たんぼぼの家 アートセンターHANA所属作家

内容: たんぼぼの家で活動する富丸風香さんは、プリントした写真に絵を描く作品をつくっています。その手法をたどりながら、好きな風景を写真に撮り、そこに絵を描いて自分だけの物語を作りました。

## 後期プログラム

### 「いろいろ素材×いろいろ加工 =立体文字をつくろう!」

実施日: 2022年12月18日(日)、2023年1月7日(土)、8日(日)

原案・講師: 宿利真希(たんぼぼの家 アートセンターHANA所属作家)

内容: 段ボールや文具など、身近な素材を使って文字を立体にしている宿利真希さん。その手法を使って、みなさんの好きな文字、なら歴史芸術文化村にある文字をモチーフに立体作品を作りました。

後期





オープンアトリエ「成果発表展」

会場：なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟 3階 セミナールーム AB  
 ほか施設内複数会場にて展示



| 展覧会ではWS参加者20名の作品  
と宿利、富丸の作品を展示



# アートプログラム コンサルティング

愛知県にあるNPO法人くるくるが立ち上げるアートプログラムのコーディネートをし、約1年にわたり行なった事業。月に1度くるくるへ訪問し、1年の活動をまとめた報告展も開催した。

主催：NPO法人くるくる

共催：社会福祉法人わたぼうしの会

たんぼぼの家アートセンター HANA

協力：一般財団法人たんぼぼの家



## 事業内容

〈 事業所 〉

NPO法人くるくる 刈谷大正センター(生活介護事業所)

〈 目標 〉

- ①アート活動を通して、利用者自身が自分で関心のあることや感じていることを表現できるようになり、他者との関わりがより活発になる環境をつくる。
- ②普段とは違う視点で利用者を見つめ、新たな側面を発見できる機会にする。

〈 期間 〉2018年12月～2019年12月 ※プレ研修：2018年11月

A)アートプログラムに関する研修業務／2018年12月～7月(7回)

- ・アートプログラムに関する基本的な知識や技術を学ぶ
- ・障害者アートの様々な事例、全国的な動向を知る

B)成果報告展業務／2019年8月～12月(3回)

- ・利用者が作品を発表することで、自身の表現を見てもらう喜びを知る
- ・発表を通じて、利用者の生み出す表現の理解を深める
- ・展示に関する基本的な知識や技術を学ぶ

※報告展「表現の気づき-さぐる くみとる またさぐる-」

会期：2019年12月5日(木)～12月20日(金)

会場：NPO法人刈谷新栄センター4階

## コンサルティングのはじまり

---



### ○ 背景

アートプログラムの立ち上げを行なった、「NPO 法人くるくる 刈谷大正センター」(生活介護)では、公園の掃除や機会部品の仕分け作業などを行なっている。やりがいのある仕事は充実している一方で、自分の好きなことを育む機会をつくりたいと考えていた。

### ○ NPO 法人くるくる

「誰もが自分らしく暮らせる社会を創り、よりよい未来を切り拓く」という理念のもと、設立して15年。年齢や障害の程度にかかわらず、切れ目なくサポートする支援システムの土台を作り上げる。愛知県刈谷市を中心に6拠点、職員数110名、複数の福祉サービスを提供。

\*生活介護、ホームヘルプ、グループホーム、放課後等デイサービス、就労移行支援、就労継続支援 B 型、就労定着支援、自立訓練、障害者就業・生活支援センター

## アートコンサルティングの内容

---

アートプログラムに関する研修業務 / 2018年12月～7月(7回) ※プレ研修:11月

### ○ 画材や素材、環境の整備

くるくるの利用者に対して、興味・関心がありそうな素材を提供。机の配置や画材のアドバイスをし、アトリエの環境を整える。



### ○ たんぽぽの家のメンバーの公開制作

たんぽぽの家のメンバーがくるくるに訪問し、他の利用者の中に交じって公開制作を行う。

### ○ たんぽぽの家でのアトリエ実習

くるくるのスタッフと利用者がたんぽぽの家のアトリエで、メンバーとともに活動を行う。



## 報告展「表現の気づき - さぐる くみとる またさぐる -」

NPO 法人刈谷新栄センター 4階 | 2019.12.5 - 20

くるくるのアートプログラムは絵を描くことを目的にせず、「その人の表現を育むこと」を目的とした。報告展ではくるくるの利用者の「好きなことや得意なこと=表現」を、スタッフが書いた紹介文とともに展示する。



展示風景



黒のパンプスが好きな人は靴を展示



細密に貼られた貼り絵



### 「大蔵賞 WS」

大蔵さんが気になるものを探すワークショップ。その日に大蔵さんが最も触ったモノにポイントをつけ、一番票が集まったモノを選んだ人に大蔵賞を与える。

## 展覧会までのプロセス

成果報告展業務 / 2019年8月～12月(3回)

### ①展示にむけた話し合い

展示の目的、時期、会場、今後のスケジュールなどを話しあう。また、くるくるの利用とともに「あいちトリエンナーレ」を鑑賞。初めて美術館へ行く利用者もいて、新しい体験となった。



### ②ワークショップの実践レクチャー

くるくるの利用者・大蔵直裕さんの出展作品をともにつくる「大蔵賞 WS」がスタート。



### ③展覧会名の決定、展示準備

報告展のタイトルが「表現の気づき - さぐる・くみとる・またさぐる -」に決定。この数ヶ月を通じて改めて気づいた利用者の表現と、利用者に向けるスタッフの視点を紹介する企画内容にする。

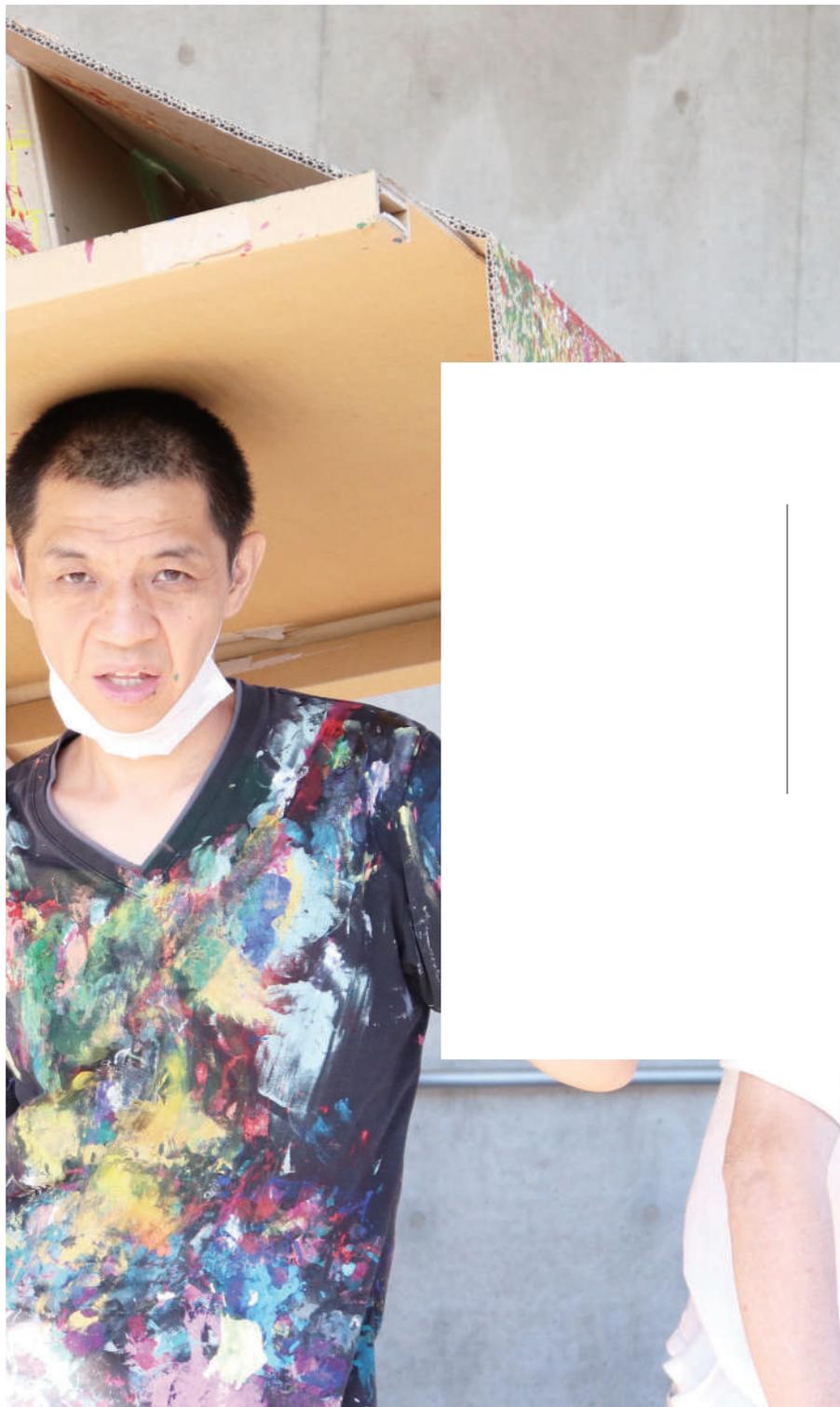


### ④報告展「表現の気づき」

展覧会の搬入をくるくるのスタッフとともに行い、展示方法や道具の使い方などを伝える。また、この1年間のアートプログラムの活動と、展示している作品を紹介するギャラリートークも行った。







パフォーマンス

ワークショップ

イベント

催事

## HANAPLAY

---

日常の体験談をもとに様々なシーンをつくる、たんぼぼの家の演劇プログラムの作品。学校時代の出来事や恋愛話、突然他界したメンバーのことなど、参加者それぞれの記憶を重ねた物語を、演劇作品として発表する。



| コモンズフェスタ2020での公演「僕が生まれた日」(主催: 應典院寺町倶楽部) |







写真：草本利枝

HANA PLAY × 近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻生  
ワークインプロGRESS 公演  
| HANA PLAY Vol.5 『贅沢な時間』 |





舞台美術：池上恵一／映像撮影：LES CONTE

監修：矢内原美邦（近畿大学文芸学部教授、振付師・劇作家・演出家・ダンサー）

協力：近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻、一般財団法人ニブロール、一般財団法人たんぼぼの家





| 2016年：成果発表@京都芸術センター |

状況のアーキテクチャー

Tracing Voices: ラップ × ケア × アート

---

Shing02 (音楽家 / ヒップホップ MC)

倉智敬子 + 高橋悟 (美術家)

2016～2017年にかけて行われた協働プロジェクト。「生きたコトバ」をテーマに声や音を使ったWSを行う。異なる感性、思考、リズムを持つ人達による「新しいコミュニケーション」の実験の記録と、その成果をライブ形式で発表した。

主催：公立大学法人 京都市立芸術大学



2017年：  
成果発表@京都市立芸術大学  
(アートミーツケア学会にて)





つくる つなぐアート  
「たんぽぽの家 & アートセンター HANA 展」  
高島屋大阪店 7階 催会場 / 大阪 / 2023年

たんぽぽの家の創立50周年を記念した展覧会を、高島屋大阪店にて開催。アートセンター HANA の250点にのぼる作品や、Good Job! センターにて障害のある人が作ったものづくりなどを紹介。その他、関西で活動する団体の商品を販売したり、会中にはWSやトークイベント、ミニライブやか語り講演などを行った。





| アートグッズ 出展団体  
 Able Art Company、Good Job!センター香芝 / GOOD JOB STORE、暮らしランプ、Salut、西淡路希望の家、poRiff/paperfu (くふう)、ワークセンターとよなか



50年のあゆみを紹介したブース

1階エントランス



語り、WS、トークイベントの様子



## H2Oサンタ NPOフェスティバル 「アート & クラフトの無限の可能性」

阪急百貨店うめだ本店 9階 祝祭広場 / 大阪 / 2022年

阪急うめだ本店が主催し、アートセンター HANA と Good Job! センターの作品や商品を販売。その他、全国の事業所から仕入れた商品も販売したりWSなども開催した。





缶バッチ WS

障害のある人のアート作品を  
テーマにした交流 WS

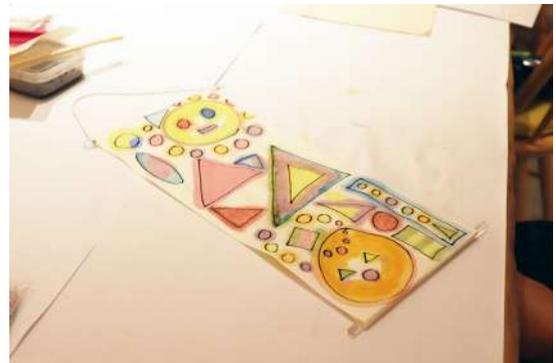
インモール、ドトールコーヒー、阪急百  
貨店、様々なアートイベントにて開催。



作家本人も参加者と一緒に制作



染め手ぬぐい作り



○△□で掛け軸を作ろう



アート作品ぬり絵「どうぶつスタジオ」



アート作品ぬり絵「HYOUSHIKI 工房」